

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：与謝野町

| プロジェクト名 | 住民が主人公となるまちプロジェクト（協働） | 実施期間 | H30年度～H34年度 | テーマ | 協働のまちづくり | 新規・継続の区分 | 新規 |
|----------------------------------|---|--|---|----------------------|-----------------------------------|----------|----|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ | 住民が互いに協力し、助け合いながら、地域の課題を解決することが重要なことから、これまで住民・地域・NPO・行政との連携をはじめとするコミュニティ活動、住民による地域づくりを推進するとともに、行政組織のスリム化・業務の効率化、持続可能な財政運営を推進してきた。現在、地域における担い手不足、住民の連帯感の希薄化、地域の衰退といった危機感に対する動きが地域内で見られるものの、地域やまちづくりに対して意識・関心を持つ住民が多いとは言えず、まちづくりの主体が行政に大きく偏っている。しかしながら、行政職員や財政などの資源が今後ますます厳しくなる中で、行政サービスを縮小せざるを得ないだけでなく、行政の一律的なサービスでは多様化する地域課題の解決を図ることができない可能性がある。これからは当事者意識を持って行動できる人材の育成、あらゆる主体による協働の仕組みと多様性を認め合う社会の構築、限られた資源を効率的かつ有効に活用していく行財政改革の推進が求められている。 | | | | | | |
| プロジェクトの目的及び概要 | 「住民が主人公となるまちづくり」のため、地域コミュニティの振興を図り元気な地域をつくとともに、当事者意識を持って行動できる人材の育成に努める。 | | | | | | |
| | 総事業費（千円） | 16,188 | 本年度事業費（千円） | 16,188 | 交付金額（千円） | 8,093 | |
| プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等） | | | | | | | |
| 事業分類 | 事業名 | 事業種別 | 事業概要 | | 主な実績（出来高数値等） | | |
| 市町村実施事業 | 広報広聴事業 | 交付対象事業 | 町民手帖の増刷 | | 町民手帖の増刷 1,000部 | | |
| | 浜町野田会館施設整備事業 | 交付対象事業 | 浜町野田会館施設整備 | | 敷地内の舗装整備 | | |
| 住民協働事業 | 住民自治活動支援事業 | 交付対象事業 | 町内の自治区への補助 | | 町内の自治会など19事業を支援 | | |
| | 総合計画・総合戦略推進事業 | 交付対象事業 | 総合計画別冊版の印刷製本 | | 発行10,000部 | | |
| | 町政懇談会開催事業 | 関連事業 | 町内各地域で住民との意見交換会 | | 「町政全般について」をテーマに町内11箇所で開催、のべ318名出席 | | |
| | 職員出前講座 | 関連事業 | 住民からの依頼で職員が出前講座を行う | | 町内各所で66回実施、のべ1,773名参加 | | |
| 住民が取り組む事業 | 公民館分館活動推進事業 | 交付対象事業 | 公民館事業の委託 | | 町内20箇所の公民館への委託 248事業 | | |
| | よさのみらい大学事業（再掲） | 関連事業 | よさのみらい大学の実施 | | 1コース2学部で全16回実施 601人の参加者 | | |
| 成果指標① | 成果指標の目標数値 | まちづくり人づくり補助金申請団体数 H29：22団体⇒H33：30団体 | | 成果指標の実績値（31年3月31日時点） | 平成30年度 28団体/年 | | |
| | 成果指標の達成状況 | ◎ | （左の理由） 目標数値を上回っており、住民自治活動や人材育成の推進のため有効に活用されている。 | | | | |
| | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期 | | （理由） | | — | （時期） | — |
| 成果指標② | 成果指標の目標数値 | 公民館活動実施 H29：20件⇒H33：20件 | | 成果指標の実績値（31年3月31日時点） | 平成30年 20件/年 | | |
| | 成果指標の達成状況 | ◎ | （左の理由） 人口減少・高齢化により活動の担い手が減少しており課題もあるが、多くの事業に活用されており今後も引き続き実施していく。 | | | | |
| | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期 | | （理由） | | — | （時期） | — |
| 本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 | 町政懇談会の実施により、住民対話の機会も増え、直に意見や要望を聞くなど、住民の声を直接町政に反映するきっかけとなった。まちづくり人づくり補助金の活用については、各自治会以外のまちづくり団体へも制度周知を行い、活用団体数の増加に繋げるよう努めていく。総合計画策定の取り組みでは、住民の皆さんがまちづくりに対する姿勢を、他人事ではなく自分事としてとらえる契機となり、今後のまちづくりに関わる人が増えることが期待される。 | | | | | | |
| ※未達成の場合も効果を記載すること | ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。 | | | | | | |
| 本プロジェクトに対する自己評価 | 関連事業との連携効果 | 町政懇談会などの関連事業により住民が本当に望むことを意見してもらい、本当に必要な施策の実現に繋げることができる。 | | | | | |
| | 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | | | |
| | 住民の自治意識を高める成果 | 住民自治活動の推進において必要な環境整備に対して支援を行うことができ、住民独自の豊かな発想による活動に繋がる。 | | | | | |
| | リーディング・モデル成果 | 住民の皆さんがまちづくりを自分事として考えるきっかけづくりとして総合計画別冊を発行し、住民参画のまちづくりの推進を目指した。 | | | | | |
| | 広域的波及成果 | | | | | | |
| | 行財政改革に資する成果 | 住民自治の拠点となる施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。 | | | | | |
| | その他の成果 | | | | | | |

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。